



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,041	11.2	417	37.1	582	32.6	433	64.3
29年3月期第2四半期	23,419	△11.0	304	△18.3	439	△12.0	263	73.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 758百万円(386.2%) 29年3月期第2四半期 155百万円(△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	71.65	—
29年3月期第2四半期	43.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	34,858	16,525	46.7
29年3月期	34,656	15,889	45.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,290百万円 29年3月期 15,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
30年3月期	—	17.00			
30年3月期(予想)			—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,041	10.1	1,096	4.7	1,399	1.4	766	43.5	126.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	6,100,503株	29年3月期	6,100,503株
30年3月期2Q	56,569株	29年3月期	52,469株
30年3月期2Q	6,046,719株	29年3月期2Q	6,051,555株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、欧米の政策動向や地政学リスクの高まりによる国際情勢の不安定さが懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの営業基盤である南九州においては、雇用関連が堅調に推移し、生産活動や消費関連に持ち直しの傾向が見られるものの、人口減少を背景に、消費マーケットの縮小による競争の激化や人材確保難と労働単価の上昇等による人件費の増加など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「収益性の改善」、「生産性の向上」を最優先課題に掲げ、サービス力の向上やお客様との接点拡大に向けた取組みを強化し、積極的な営業活動による販売シェアの拡大に努めるとともに、社員一人ひとりの生産性を高めるための人材教育・育成を図り人手不足への対応と業務効率の改善に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は260億41百万円（前年同四半期比11.2%増）、経常利益は5億82百万円（前年同四半期比32.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億33百万円（前年同四半期比64.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、法人向けの営業活動を強化し、販売シェアの拡大に取組む一方で、個人向けの「ENEOSカード」等の積極的な発券活動によるユーザーの囲い込みや固定化を図りました。また、サービスステーション（SS）の洗車・タイヤ・オイルなどの油外商品の増販や車検・整備売上の受注拡大に取組むなど利益率の改善に努めました。

ガス部門では、積極的な営業活動による法人顧客の新規開拓に取組むとともに、訪問活動による接点強化を図り、電力販売の新規契約の獲得や住設機器の提案等による収益の拡大に努めました。

以上の結果、当期は原油価格の影響等に伴いエネルギー関連商品の販売価格が上昇したこと等により、売上高は199億2百万円（前年同四半期比15.0%増）、セグメント利益（営業利益）は3億36百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、季節商材や売れ筋商品を中心に、品揃えの強化と売場レイアウトの変更を実施するとともに、イベントの開催や販促活動の実施等により、集客率のアップと購買意欲を高める取組みで、各種商品及びレンタルの売上拡大を図りました。また、既存店舗の大型リニューアル計画を進める一方で、工事期間中の収益を確保するためにも、一人ひとりの生産性を高めるための人材育成に努めました。更にオプシアミスミにおいても、開業10周年に合わせて施設のリニューアル工事を開始するとともに、ブックスミスミオプシアの大幅改装に加え、新たに大型テナントの出店が決定しております。

自動車部門では、イベントや出張展示会を継続的に開催し、プジョー車の認知度向上を図ることで、新車販売の受注拡大に努めるとともに、タイヤ販売においては、試走会の開催等による新商品のPR活動に加え、更なる収益拡大に向けて営業力の強化に取組みました。

ホームライフ部門では、完成見学会や展示会を計画的に実施することで集客を図り、新築・リフォーム受注の掘起しに努めました。

以上の結果、タイヤ販売の売上が好調に推移したこと等により、売上高は34億75百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億77百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、人件費の適正化を中心にコスト管理を徹底するとともに、オペレーション力の強化による品質管理の向上と廃棄ロスの削減を図り、収益性の改善に努めました。一方、宮崎県内のKFCイオン日向店を収益の増加が見込める商圈へ移転するため、8月末で閉店いたしました。

ミネラルウォーター部門では、電気契約者向けに実施している「6ヶ月間の宅配お試しキャンペーン」を継続し、ガス小売店舗との連携による一般顧客向けの宅配件数の新規獲得に努めました。また、物流・配送コストの上昇に伴い収益性を再検証し、販売価格の改定を実施いたしました。

以上の結果、売上高は26億63百万円（前年同四半期比0.8%減）となりましたが、コスト削減等によりセグメント利益（営業利益）は1億94百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

## (2) 財政状態に関する説明

## (財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億1百万円増加し、348億58百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や有形固定資産、投資有価証券（固定資産の投資その他の資産）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて4億34百万円減少し、183億32百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億35百万円増加し、165億25百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、固定資産の取得4億23百万円、法人税等の支払い3億64百万円及び仕入債務の減少3億44百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少6億58百万円、税金等調整前四半期純利益5億84百万円及び減価償却費2億79百万円等の資金の増加により、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末は50億74百万円（前年同四半期末比8.5%減）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、6億35百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。これは主に、法人税等の支払い3億64百万円、仕入債務の減少3億44百万円及び役員退職慰労引当金の減少1億88百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少6億58百万円、税金等調整前四半期純利益5億84百万円及び減価償却費2億79百万円等の資金の増加によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、2億95百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。これは主に、固定資産の取得4億23百万円等の資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は、88百万円（前年同四半期は61百万円の増加額）となりました。これは主に、配当金の支払い1億8百万円等の資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月11日発表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,634,180	5,888,245
受取手形及び売掛金	4,645,180	3,977,111
商品及び製品	2,429,428	2,442,549
仕掛品	21,802	20,311
原材料及び貯蔵品	39,445	32,049
その他	614,533	709,022
貸倒引当金	△48,902	△54,045
流動資産合計	13,335,669	13,015,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,485,670	3,406,743
土地	12,097,653	12,123,378
その他(純額)	935,701	1,213,098
有形固定資産合計	16,519,025	16,743,220
無形固定資産	197,598	172,061
投資その他の資産		
その他	4,851,376	5,185,117
貸倒引当金	△247,201	△257,468
投資その他の資産合計	4,604,174	4,927,649
固定資産合計	21,320,798	21,842,931
資産合計	34,656,467	34,858,175
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,106,079	1,761,378
短期借入金	4,480,000	4,400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,556,660	2,555,978
未払法人税等	400,536	159,290
賞与引当金	260,545	260,206
厚生年金基金解散損失引当金	267,514	267,514
その他	1,358,262	1,551,412
流動負債合計	11,429,597	10,955,780
固定負債		
長期借入金	5,198,734	5,316,834
役員退職慰労引当金	795,340	606,700
その他	1,343,023	1,453,206
固定負債合計	7,337,097	7,376,740
負債合計	18,766,694	18,332,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	11,657,641	11,982,022
自己株式	△82,150	△89,848
株主資本合計	14,912,991	15,229,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861,012	1,136,677
退職給付に係る調整累計額	△102,757	△75,472
その他の包括利益累計額合計	758,254	1,061,205
非支配株主持分	218,527	234,775
純資産合計	15,889,773	16,525,654
負債純資産合計	34,656,467	34,858,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	23,419,225	26,041,594
売上原価	17,869,629	20,451,213
売上総利益	5,549,595	5,590,380
販売費及び一般管理費	5,245,159	5,172,913
営業利益	304,436	417,467
営業外収益		
受取利息	1,655	1,421
受取配当金	36,006	36,998
受取賃貸料	65,882	54,262
その他	124,354	145,490
営業外収益合計	227,899	238,173
営業外費用		
支払利息	49,260	30,142
賃貸費用	27,485	5,976
その他	16,371	37,183
営業外費用合計	93,117	73,302
経常利益	439,217	582,338
特別利益		
固定資産売却益	5,252	2,855
特別利益合計	5,252	2,855
特別損失		
固定資産売却損	2,225	800
投資有価証券評価損	581	—
特別損失合計	2,806	800
税金等調整前四半期純利益	441,663	584,393
法人税、住民税及び事業税	137,391	129,104
法人税等調整額	26,054	1,050
法人税等合計	163,445	130,154
四半期純利益	278,217	454,238
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,599	20,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	263,618	433,245



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	278,217	454,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,765	275,665
退職給付に係る調整額	10,527	28,534
その他の包括利益合計	△122,238	304,200
四半期包括利益	155,978	758,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,287	736,197
非支配株主に係る四半期包括利益	15,691	22,242

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	441,663	584,393
減価償却費	311,957	279,339
固定資産除却損	1,395	10,748
投資有価証券評価損益 (△は益)	581	—
のれん償却額	17,950	17,200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,316	15,409
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,264	△339
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,206	△188,640
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△37,447	△5,050
受取利息及び受取配当金	△37,662	△38,420
支払利息	49,260	30,142
固定資産売却損益 (△は益)	△3,026	△2,055
受取保険金	△3,470	△2,902
売上債権の増減額 (△は増加)	628,868	658,471
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11,009	△4,232
仕入債務の増減額 (△は減少)	△228,768	△344,700
その他	△111,220	△21,788
小計	1,048,351	987,576
利息及び配当金の受取額	38,020	38,432
利息の支払額	△48,477	△28,946
保険金の受取額	3,470	2,902
法人税等の支払額	△258,808	△364,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	782,556	635,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	△2,600
固定資産の取得による支出	△295,683	△423,589
固定資産の売却による収入	11,743	32,189
投資有価証券の取得による支出	△13,723	△13,272
差入保証金の差入による支出	△283	△6,933
差入保証金の回収による収入	7,358	20,101
貸付金の回収による収入	1,738	1,069
保険積立金の解約による収入	—	95,313
その他	△6,764	1,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,214	△295,975

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△281,500	△230,000
長期借入れによる収入	1,700,000	1,556,000
長期借入金の返済による支出	△1,344,777	△1,438,582
リース債務の返済による支出	△6,389	△3,138
自己株式の取得による支出	△6,287	△7,698
配当金の支払額	△96,699	△108,802
非支配株主への配当金の支払額	△3,245	△5,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,101	△88,216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	547,442	251,465
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,594	4,822,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,548,037	5,074,145

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,302,844	3,431,516	2,684,864	23,419,225	—	23,419,225
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,024	53,489	14,235	79,749	△79,749	—
計	17,314,868	3,485,005	2,699,099	23,498,974	△79,749	23,419,225
セグメント利益	237,230	175,595	169,134	581,960	△277,524	304,436

(注) 1 セグメント利益の調整額△277,524千円には、セグメント間取引消去3,313千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△280,838千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,902,912	3,475,501	2,663,181	26,041,594	—	26,041,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,832	60,608	13,174	84,615	△84,615	—
計	19,913,744	3,536,110	2,676,355	26,126,210	△84,615	26,041,594
セグメント利益	336,416	177,841	194,929	709,187	△291,719	417,467

(注) 1 セグメント利益の調整額△291,719千円には、セグメント間取引消去2,737千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△294,457千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。